

平成30年度
社会福祉法人 宝塚さざんか福祉会 事業計画

1. 法人理念

- ・法人は、利用者一人ひとりの想いを大切に、これを共有し、その想いが実現できるよう支援します。
- ・職員は、職業人としての自覚を持ち、自らの資質の向上を図り、豊かな人間性の醸成に努めます。
- ・法人は、地域と共に暮らし、地域と共に活動し、地域のコミュニティ発展に寄与します。

2. 基本方針

- ・法人の基本理念を達成するために、法人が有する資源や機能、人材を活用し、役割と使命を果たすことができるよう事業展開を進めます。

3. 重点取組内容

(1) 新たな取り組みについて

①福祉サービス第三者評価の計画的に導入を開始、順次実施します。

今年度より、計画的に評価受診を順次進めていきます。平成30年度についてはいきいき宝夢を対象とし、取り組みを開始します。

②改めて経営計画策定のための具体的な取組を進めます。

「新経営計画策定」のための委員会を新たに立ち上げ、平成26年度末に策定された「今後3年から5年の間に優先的に取り組む施策」を改めて見直し、今後の中長期経営計画の策定に取り組みます。

③高齢障害者への福祉サービスの提供と今後の計画検討を進めていきます。

ア. ワークプラザ宝塚の生活介護定員を6名増やし、いきいき宝夢別館を活用し、「共生型」事業を開始します。

イ. 高齢障害者への相談支援機能を充実させるため、相談支援センターに居宅介護支援事業所を併設するための準備を開始します。

④組織・事業内容の見直しをおこないます。

ア. かしの木工房こはま事業内容の見直し就労継続支援B型及び従たる事業所を廃止し、定員40名の生活介護事業所に変更します。逆瀬川アピア店舗を閉店するため、改めてSan-Qブランド販売等のあり方や日中活動内容等について再構築します。

イ. 「サービス管理責任者」の位置付けの明確化
サービス管理責任者を主任として位置付けます。

⑤諸規程等の見直し、変更を順次行い、検討を継続します。

ア. 専門職のアドバイスを基に、現在の就業規則、給与規程等を順次見直すとともに、人事考課制度の導入・活用に向けて具体的検討を開始します。

イ. サービス管理責任者の位置付け等々の変更等に伴い、諸手当等を見直します。

(2) 各事業所等における施設整備等への取り組みについて

- ①あしたば園のプレイルーム、トイレ等、環境改善を国庫補助金を基に中規模改修を実施します。
- ②めふプラザ建替えに向けて、公益財団法人プラザコムとの協議を継続し、仮設置方法や場所等も含め、今後の事業展開に合わせて検討を進めます。
- ③いきいき宝夢の支援環境整備を引き続き取り組みます。
- ④スプリンクラー対応新設ホームへの住み替え、既存ホームへの新規利用者の募集受入れを計画的に実施します。
- ⑤法人本部、事務局等の機能強化に向けて、設置環境を含め、今後のあり方について検討を開始します。

(3) 人材の育成と確保について

- ①昨年度策定した法人研修計画を基に見直しながら、計画性を持って取り組みます。
- ②人材確保と育成が一体的に取り組めるよう、大学等との連携協力を深めながら進めていきます。また、県知的障害者施設協会等々の実施する就職フェア等にも職員を派遣し、積極的に人材の確保に努めます。

(4) 地域貢献事業について

- ①平成29年度に非営利活動法人宝塚成年後見センターに一部委託事業化した活動報告を受け、内容を精査し、知的障害者が宝塚市で安心して暮らし続けるために、既存の制度では充足できない継続した支援等の構築につながるよう、サービス等のあり方について検討を深めていきます。
- ②宝塚市社会福祉法人連絡協議会等への参加や、他団体との意見交換など分野や年齢を超えた包括的な支援や協力のあり方について、法人としてできることは何かを考えていきます。

(5) 財務計画について

新経営計画の策定を進めるとともに、厳しい財務状況を改善していくために、会計指導のもと各管理者が意識を持って事業運営に取り組めるよう、情報を提供し、協議を重ねます。